



確かな学力の向上をめざして【11月】

スクールカウンセラー（SC）とともに教育相談の充実を

児童生徒を取り巻く環境が多様化・複雑化する中、児童生徒の長期欠席・不登校の出現率は年々上昇しています。鳥取県では、児童生徒の心に働きかけるカウンセリング等の教育相談機能を充実させることが必要であるとの認識の下、平成8年度からスクールカウンセラー（以下SCとする）の配置が始まり、現在は、県内の全中学校区に配置され、校区内の小学校の相談にも対応しています。

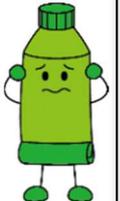
まずは、SC活用の第一歩として、SCの職務やどのように連携を図っていけばよいのかを紹介します。

1 児童生徒の不安や悩み、問題行動を解消するために

指導や支援をしているものの、改善が見られない。児童生徒のこのような様子は見られませんか？

- ・Aさんは、授業中に自分勝手な行動をとったり、授業を妨害したりする。
- ・Bさんは、最近欠席が増えた。表情が暗い、反応がにぶくなった。
- ・担任するクラスの中で、友達同士のトラブルが絶えない 等…

こんなとき、どうしたらいいのだろう…



そんなときは、SCに相談してみましょう。気になる児童生徒の様子やクラスの様子を見てもらうことで、今後の対応を一緒に考えることができます。問題行動の未然防止にもつながります。場合によっては、SCとのカウンセリング場面を設定することで、児童生徒が悩みや不安を安心して相談する機会にもなります。

2 児童生徒の望ましい人間関係をつくるために

生徒指導提要においても、全ての児童生徒を対象にした、発達支持的生徒指導の充実が求められています。

未然防止の取組として、**心理教育**を実施することも効果的です。

児童生徒の実態を考えて、計画立てて実施しましょう！
SC任せにならないよう、一緒に授業づくりを行いましょう！



3 教職員のスキルアップを図るために

SCを講師に職員研修等を行うことで、教職員自身が幅広い見方や考え方を身に付けることができ、教育相談・カウンセリング能力を高めることにつながります。

カウンセリング
マインドって大事！



4 児童生徒への今後の適切な支援につなげるために

SCによる児童生徒とのカウンセリング後に、教職員とのコンサルテーションを行い、適切な配慮や支援方法について情報共有、協議をすることで、今後のより適切な支援・対応につなげることができます。また、SCに校内の支援委員会やケース会議等に出席してもらうことで、共に児童生徒のアセスメントを行い、専門的な視点からの助言を得ることができ、今後の適切な支援・対応へつなげることもできます。

5 緊急事態への対応・支援に向けて

学校では、児童生徒の生命に関わる重大な事故や事件等、予期せぬことが起こる場合があります。SCは、学校からの依頼に応じて事案に対応する緊急体制に加わるなど、心理の専門家としての支援を行います。

Point

□一人で抱え込まず、早めに相談しましょう！

- ・困った時にはスクールカウンセラーの力も借りてみましょう。問題が大きくなってからの相談ではなく、「ちょっと気になるな」「大丈夫かな？」と思った時点で共有しましょう。

担任が児童生徒や保護者にカウンセリングを勧める場合、SCについてきちんと説明をして、紹介をしましょう！

事前にSCや担当教員としっかりと情報交換を行いましょう！

